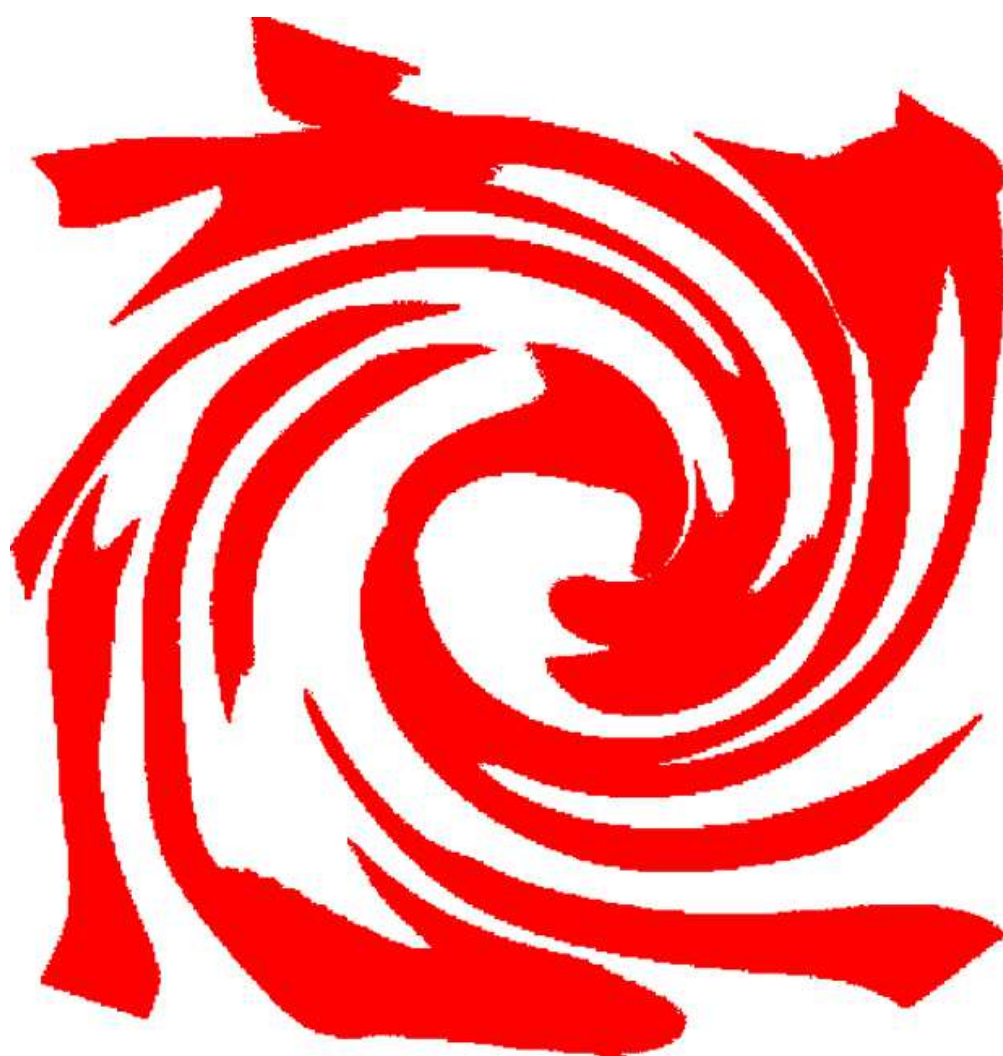


怒いは善悪
で歪む



東郷 潤

怒りは、人間や多くの動物にとって、ごく自然な感情です¹。

こらあっ！！
何やってんだ！



愛が損なわれて生まれる怒りは、変形した愛そのものなのかも知れません。

¹ 参照絵本「愛と怒り」

怒りには大切な役割があります。例えば喧騒の中で注意を引くとか・・・²



自分の痛みを相手に伝えるとか。



² 参照絵本「注意をひけるよ」「伝えられるよ」

次の痛みを予防するとか。³



怒ることによって信頼を示し友達が出来ること
もありますね。

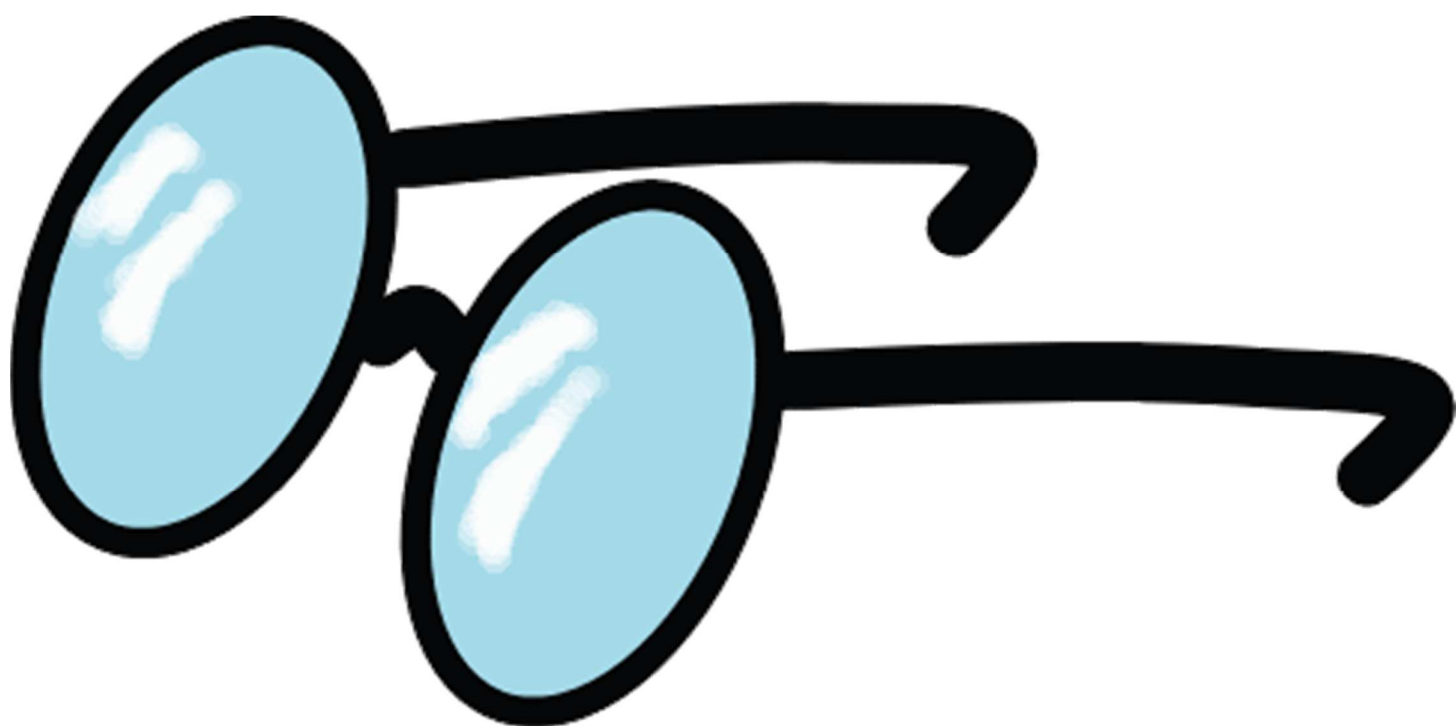


³ 参照絵本「予防できるよ」「友達になれるよ」

こうして人々は怒りを利用し、世界をもっと安全で愛がいっぱいの場所にするはずでした。



ところが数千年前、善悪という錯覚のシステムが生まれ人類に広がって行ったのです。



そして怒りも、善悪で錯覚されるようになって来ました。⁴

⁴ この絵は絵本「魔法のメガネ」から

たとえば怒りを悪だと錯覚し、全ての怒りを抑圧する人がいます。⁵



たまった怒りが爆発すれば、通り魔殺人が発生しちゃうかもしれません。

⁵ 参照絵本「平和主義？」

あるいは、悪い人が怒る／悪い人を怒ると思い込む人々もいます。⁶

悪人どもめ、皆殺しだ！！



数えきれない虐殺が生まれるかもしれません。

⁶ 参照絵本「優しい巨人」

今、怒りは善悪で歪み、
その役割を果たし辛く
なりつつあります。



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2019